



平成24年度

アドミッションズ・オフィス(AO)による入学試験

募集要項

第一次選抜への出願者用

目 的

アドミッションズ・オフィス（AO）による入学試験の目的は、本学の建学の精神と教育方針を理解し、本学への入学と勉学に強い意欲を持つ方のなかから、多面的かつ総合的な審査・評価を通じて、本学入学者にふさわしい方を選抜することにあります。

入学者受け入れの方針

本学は、東北学院の建学の精神、教育理念に理解を示していること、および入学しようとする学部学科での学修に必要な学力を有していることを基本的要件としながら、さらに次の点を考慮しつつ、入学者を広く受け入れます。

- (1) 大学での学修に必要な能力（コミュニケーション力、思考力、文章力など）を持っていること
- (2) 入学しようとする学部学科の教育内容を理解したうえで、その学部学科での学修を強く望んでいること
- (3) 建学の精神への深い理解と共感を持っていること
- (4) スポーツに優れていること
- (5) 外国人留学生もしくは社会人であること

募集定員

学 部	学科（コース）	A日程	B日程	学 部	学科（コース）	A日程	B日程
文 学 部	英文学科(昼間主)	30名	5名	工 学 部	機械知能工学科	12名	2名
	英文学科(夜間主)	2名	1名		電気情報工学科	12名	2名
	総合人文学科	4名	1名		電子工学科	8名	2名
	歴史学科	13名	2名		環境建設工学科	8名	2名
経 済 学 部	経 済 学 科	30名	2名	教 養 学 部	人 間 科 学 科	6名	1名
	共生社会経済学科	25名	3名		言 語 文 化 学 科	5名	1名
経 営 学 部	経 営 学 科	23名	2名		情 報 科 学 科	5名	1名
法 学 部	法 律 学 科	28名	3名		地 域 構 想 学 科	6名	2名

※文学部英文学科の（昼間主）は昼間主コース、（夜間主）は夜間主コースです。

出 願 資 格

次の全てに該当する方

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方または平成24年3月までに卒業見込みの方、ならびに大学を受験できる資格を取得した方または平成24年3月までに取得見込みの方
- (2) 出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、必ず入学手続きをする意志のある方
- (3) 出願する本学の学部学科に入学した場合、そこに学ぶ学生として、積極的で有意義な学生生活を送ることができる学力、意欲、適性を持っている方で、それをアピールできる方

選 抜 方 法

選抜は第一次選抜と第二次選抜からなります。

第一次選抜

- (1) 書類審査と面接（経済学科はグループ・ディスカッション実施後に面接）によって行い、A、B、C、Dの4段階で評価します。評価結果は、決まりしだい学校を通して出願者に通知します（既卒者、高等学校卒業程度認定試験合格者等については直接本人に通知します）。
- (2) 書類審査の結果により面接を行わない場合もあります。面接を行う場合、その日時は決まりしだい出願者に通知します。
- (3) 評価は、出願者が、出願した本学の学部学科の学生として望まれる学力、意欲、適性をどの程度持っているかについて、多面的・総合的に行います。

第二次選抜

- (1) 第二次選抜には第一次選抜でA、B、Cの評価を受けた方だけが出願できます。
- (2) 合否判定は、小論文・面接の結果と第一次選抜での評価を総合して行い、それによって最終的合格者を選抜します。

試験内容

第一次選抜

(1) 面接

基本的には、個人面接形式で行います（学科によっては独自の方法をとることもあります）。出願者が、出願した本学の学部学科の学生として望まれる学力、意欲、適性をどの程度持っているかについて、時間をかけて（個人面接は30分程度）多くの質問をします。

ただし、経済学科はテーマを与えてグループ・ディスカッションを実施し（グループは4人を原則として40分程度）、その後に個人面接（20分程度）を行います。

第二次選抜

(1) 小論文

【文学部・経済学部・経営学部・法学部・教養学部】

与えられた文章の要旨のまとめや、それに対する自分の意見の論述をします。

(60分：800字程度)

【工学部】

与えられたテーマに関して、自分の意見の論述をします。(60分：600字程度)

(2) 面接

面接試験担当者による個人面接。時間は5～10分程度。

出願方法

第一次選抜

(1) 出願書類

① 第一次選抜審査申請書（A 3判）

② 第一次選抜志願票（B 5判）

③ 指定の返信用封筒（定形）

出願者の住所・氏名を宛先として明記し、350円切手を貼付したもの

④ 出身学校の調査書等 ※

・ 学校を既に卒業した方

出身学校の「調査書」（厳封されたもの）

・ 高等学校卒業程度認定試験を受験している方

「受験票のコピー」

・ 高等学校卒業程度認定試験を既に合格した方

「成績証明書」（厳封されたもの）

※ 高等学校もしくは中等教育学校卒業見込みの方は不要です。

《出願の際の注意》

● 出願用の封筒は、この募集要項に付いている本学指定のAO入試出願用のものを使用し、志望学科を明記してください。

● 出願書類は必ず書留郵便とし、締切日の15時まで郵送必着です。

第二次選抜

(1) 第一次選抜でA、B、Cの評価を受けた方が、第二次選抜へ出願できます。

(2) 第二次選抜募集要項は、第一次選抜の評価を通知する際、該当する方に送付します。

「大学礼拝」について

キリスト教を建学の精神とする本学では、毎朝10：25～10：45（夜間主コースは毎週水曜日19：35～19：55）の20分間、本学礼拝堂において、讃美歌を歌い、聖書を読み、説教を聞く大学礼拝が行われます。

本学の学生にとって、この礼拝への参加は、普通の講義への出席と同じに、権利であるとともに義務です。第二次選抜試験当日には、監督者から大学礼拝についての説明があり、担当教員が質問を受けることになっています。

■ 試験日程

	第一次選抜			第二次選抜		
	出願期間	面接期間	評価通知	出願期間	試験日	合格発表日
A日程	8月19日(金)～8月25日(木) 9月14日(水)～9月20日(火)	9月5日(月)～9月17日(土) 9月30日(金)～10月12日(水)	9月21日(水) 10月17日(月)	10月24日(月)～10月28日(金) 15時まで郵送必着	11月8日(火)	11月18日(金)
B日程	11月17日(木)～11月22日(火)	11月30日(水)～12月3日(土)	12月6日(火)	12月8日(木)～12月13日(火) 15時まで郵送必着	12月21日(水)	12月27日(火)

《出願の際の注意》

- A日程は2回の出願期間のうち、どちらの期間に出願してもよいですが、出願できるのは1回のみです。
- A日程に出願した方は、B日程で同じ学科（昼・夜間主コースが違ってても）には出願できません。

■ 試験場

		文・経済・経営・法学部	教養学部	工学部
第一次選抜		土樋キャンパス	泉キャンパス	多賀城キャンパス
第二次選抜	A日程	泉キャンパス		
	B日程	土樋キャンパス		

■ 検定料

第一次選抜：無 料

第二次選抜：33,000円

■ 結果の発表

第一次選抜

評価通知日の消印で学校を通して出願者本人に通知します（既卒者、高等学校卒業程度認定試験合格者等については直接本人に通知します）。

第二次選抜（最終的合否）

A日程：平成23年11月18日(金)
B日程：平成23年12月27日(火)

14時の予定

合格者には当日消印の速達で合格通知書を郵送します。

また、14時には合否照会システムを利用して、電話、パソコン、携帯電話で合否を確認することができます。

なお、出願資格を取得見込みで受験した方が、その資格を満たせなかった場合は、合格は取り消されます。

AO入試における重要評価点（学科別）

学部・学科		重 要 評 価 点
文 学 部	英 文 学 科 (昼間主コース)	<ol style="list-style-type: none"> 十分な学力の裏付けがあること。 英語を含む外国語学習に強い意欲をもち実践していること。(第一次選抜の面接において、英語文章を黙読の後、音読する課題が与えられることがある。) 知的好奇心が旺盛であること。(第一次選抜の面接において、読書経験を尋ねられることがある。) 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明できること。 英文学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学プランをもっていること。
	英 文 学 科 (夜間主コース)	上記に加え、夜間主コースで学ぶはっきりした理由があること。
	総合人文学科	<ol style="list-style-type: none"> 思想・哲学、文化・芸術、宗教・神学などの人文諸学に関心をもち、本学科での勉学に強い意欲を有していること。 英語を含めた基礎的学力を有していること。 読解力を有し、自分の考えを論理的に表現する力をもっていること。 社会に対して強い関心をもち、積極的ににかかわろうとする姿勢を有していること。
	歴 史 学 科	<ol style="list-style-type: none"> 歴史学科で何を学びたいのか、目的がはっきりしていること。 好奇心旺盛で、自分から率先して学び調べようとする積極性があること。(第一次選抜の面接において、読書経験を尋ねられることがある) 幅広い知識を吸収できる柔軟な思考・十分な基礎学力を有していること。 歴史に関する基礎知識を有していること。
経 済 学 部	経 済 学 科	<ol style="list-style-type: none"> 基礎学力が十分にあること。 本学科の開講科目に強い関心をもち、学ぶ目的がはっきりしていること。 現代社会の動きに強い関心をもち、それについて深く調べることが好きなこと。 社会とは何か、とくに経済とは何かを探究したいという強い意欲をもっていること。 論理的に考え、自分の意見を明確に主張できること。(あるテーマで、グループ・ディスカッションを行います。)
	共 生 社 会 科 経 済 学 科	<ol style="list-style-type: none"> 共生社会経済学科の教育内容とその特色をよく理解し、本学科で学ぶのに十分な基礎学力を有していること。 共生社会経済学科で学びたいという明確な意志をもっており、それを自分の言葉で表現できること。 社会奉仕活動や国際交流など、人と人との共生に関連する活動に、積極的に取り組もうとする意欲をもっていること。
経 営 学 部	経 営 学 科	<ol style="list-style-type: none"> 本学部で学ぶための基礎学力があること。 基礎学力とは、国語・数学・英語のほか、たとえば日商簿記検定2級程度に合格していること、実用英検2級程度に合格していることであってもよい。 企業経営、企業活動、製品開発など経営全般に関して、どのような点に強い興味をもっているのか自分の言葉で表現できること。 社会や経済、経営全般に関して疑問をもったことについて、自ら進んで調べ、明らかにした結果を自分の言葉で説明できること。 本学部に入学することによって何を学ぼうとし、それを将来どのように生かすかについての明確なビジョンをもち、説明できること。
法 学 部	法 律 学 科	<ol style="list-style-type: none"> 学力が本学法学部で学ぶための水準に達していること。 本や新聞などを通して、社会への高い関心と豊かな知識を持ち、社会的問題を理論的かつ多面的に考えることができること。 法学部で学ぶ内容をよく理解しており、そのうえで、本学部での勉学を志望する明確な理由があること。 またこうしたことを、自分の言葉で適切に表現できること。
工 学 部	機械知能工学科	<ol style="list-style-type: none"> 機械工学を学ぶために必要な数学、物理、英語の基礎学力を持ち、自分自身で問題を発見し、解決するための方法を考え、解決しようとする姿勢をもっていること。 AO入試により入学しようとするはっきりとした理由とそれを明らかにできる活動や経験があり、それを面接委員に十分に伝えられること。 技術者として必要な自立・自律する心を育てることと、社会の一員としての責任を自覚して、積極的に学ぼうとする意欲をもっていること。
	電気情報工学科	<ol style="list-style-type: none"> AO入試を選択した理由を明確に説明できること。 本学科の教育内容を十分に理解したうえで、明確な勉学動機と目標をもち、意欲的かつ積極的であること。 電気情報工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力をもっていること。
	電 子 工 学 科	<ol style="list-style-type: none"> 電子工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力をもち、自ら学習しようとする積極性を有すること。 先端科学技術に強い関心をもち、理工系学生にふさわしい強い学習意欲と高い目標をもっていること。 自己の人間性を高め、人間社会、地球環境、地域発展への貢献を希望していること。 大学で科学、技術を学ぶときに活かされるような体験や特技をもっていること。
	環境建設工学科	<ol style="list-style-type: none"> 良好な人間社会の創造、特に都市および地域環境の創造に大きな興味をもち、かつ社会基盤を形成する構造物の設計や都市環境の保全を学ぶための十分な基礎学力を有していること。 地球環境・地域環境のあり方に興味を持ち、自然環境と調和可能な新しいテクノロジーについて学ぶ強い意欲があること。 ひと、社会、自然に興味をもち、技術者として、社会、地球環境、地域の発展への貢献を希望していること。
教 養 学 部	人 間 科 学 科	<ol style="list-style-type: none"> 人間に対する探究心をもつとともに、本学科の提供する教育内容について自ら調べて、志望理由を明確に表明できること。 人間の問題に関して深い理解が得られるような本を積極的に読み、その内容を的確に読解する基礎的な学力を有すること。 自分の興味関心と将来の目標について筋道を立てて自分なりの言葉で説明できること。
	言語文化学科	<ol style="list-style-type: none"> 英語をはじめとした基礎科目について、本学で学ぶための十分な学力を有していること。(第一次選抜の際、短い英文を音読してもらい、その内容について質問に答えてもらう場合がある。) ドイツ語、フランス語、中国語、あるいは韓国・朝鮮語を、第二外国語として学ぶ強い意欲があること。 ことばを中心に形成されている文化現象に関心と興味があること。例えば、映画・演劇・美術・音楽のような表現文化、挨拶や儀式といった風俗・習慣、地域に固有の方言・伝統・制度、神話・文学・思想、言語やコミュニケーションの構造や病理、説得術やレトリック、異文化理解や翻訳の原理と実際、日本語、日本文化など。
	情 報 科 学 科	<ol style="list-style-type: none"> 大学での学習に必要と思われる学科に関する基礎学力と理解力を持ち、同時にコンピュータ科学系、数学系、理料系のいずれかの科目に強い関心をもっていること。 情報科学科のカリキュラムをある程度理解し、そのなかで目的意識をもちながら専門的に学ぶ意欲があること。 広く社会や科学・技術の動向、教養学部に関連する諸学問分野に関心があること。 明確な自己表現の能力があること。
	地域構想学科	<ol style="list-style-type: none"> 地域構想学科の教育内容とその特色をよく理解し、本学科で学ぶのに十分な基礎学力を有していること。 地域で生じている多様な現象・問題に関心をもち、それを深く探究・解決しようとする強い意志があること。 これまで、校内外の活動に積極的に取り組んできた経験を持ち、そのことをアピールする表現力と説得力をもっていること。 将来も地域に積極的ににかかわってこうとする明確な目的と意欲をもっていること。

入学手続

次の期日までに、入学時納付金の合計金額を納入し、学生納付金の納入証（振込済証明書）と指定書類を提出してください。

A日程：平成23年12月 9日(金)
B日程：平成24年 1月13日(金) } 15時まで郵送必着または窓口受付とします。

学生納付金等

〔平成23年度参考〕（単位：円）

学部 項目	文学部・経済学部 経営学部・法学部			文 学 部 (夜間主コース)			工 学 部			教 養 学 部		
	入学時 納付金	後期 (10月) 納付金	合 計	入学時 納付金	後期 (10月) 納付金	合 計	入学時 納付金	後期 (10月) 納付金	合 計	入学時 納付金	後期 (10月) 納付金	合 計
* 入学金	270,000	0	270,000	270,000	0	270,000	270,000	0	270,000	270,000	0	270,000
授 業 料	327,000	327,000	654,000	327,000	327,000	654,000	474,000	474,000	948,000	372,000	372,000	744,000
施設設備資金	90,000	90,000	180,000	45,000	45,000	90,000	115,000	115,000	230,000	110,000	110,000	220,000
工学部実習料							35,000	35,000	70,000			
学納金計	687,000	417,000	1,104,000	642,000	372,000	1,014,000	894,000	624,000	1,518,000	752,000	482,000	1,234,000
後援会費	16,000	0	16,000	16,000	0	16,000	16,000	0	16,000	16,000	0	16,000
* 同窓会入会費	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000
同窓会費	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000
学術研究会費	1,500	0	1,500	1,500	0	1,500				1,500	0	1,500
工学会費							800	0	800			
* 学生会入会費	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	2,000	0	2,000	1,000	0	1,000
学生会費	4,000	0	4,000	4,000	0	4,000	8,000	0	8,000	4,000	0	4,000
諸会費計	28,500	0	28,500	28,500	0	28,500	32,800	0	32,800	28,500	0	28,500
合 計	715,500	417,000	1,132,500	670,500	372,000	1,042,500	926,800	624,000	1,550,800	780,500	482,000	1,262,500

【注意】

- ① 平成24年度入学生については、上記の金額が変更されることがあります。
- ② *印は入学時だけの納入となり、入学時納付金に含まれています。入学年度後期の学生納付金は入学後10月に納入することになります。
- ③ 本学学生納付金はスライド制を導入しているため、在学期間中（翌年度以降）に改定されることがあります。
- ④ 入学翌年度からの学生納付金は、前期（5月）と後期（10月）の2期に分けて納入することになります。

経営学科・電気情報工学科・情報科学科では、授業でノート型パソコンを使用いたします。詳しくは、入学手続きの際にお知らせいたします。

「第一次選抜審査申請書」、「第一次選抜志願票」記入上の注意

1. 記入にあたっての一般的注意

- 出願者本人が記入してください（「指導教員の所見欄」と「学校における評定平均値」は除きます）。
- ボールペンを用い、黒または青のインクで書いてください。
- 楷書でていねいに書いてください。修正の際は、~~修正~~のように二重線を用いて修正し、訂正印を押してください。修正液等は使用しないでください。
- 「志願票」は、同じ大きさ（B5判）であれば、コピーしたものに記入し出願してもかまいません。

2. 「出身校」の欄について

- 高等学校もしくは中等教育学校卒業（または卒業見込み）以外の方、たとえば高等専門学校3年修了や高等学校卒業程度認定試験（大検合格含む）で受験資格を取得（または取得見込み）の方は、この欄を利用し、適宜修正して書いてください。

3. 「現住所」の欄について

- 現在住んでいて、すぐに連絡のとれる住所・電話番号を記入してください。

4. 「現在の身分」の欄について

- 社会人の方は、[] 内に職業も記入してください。無職の場合は無職、主婦の場合は主婦と記入してください。
- 1～4のどれにも該当しない方は、その他の[] 内に具体的に記入してください。

5. 質問Ⅰ～Ⅷについて

- 与えられた行内におさまるように記入してください。書くことが多い場合には、内容をまとめて記入してください。

6. 「指導教員の所見欄」について

- 高校生・中等教育学校生・予備校生の方は、現在在学する学校・予備校の指導教員に記入してもらってください。
（高校生・中等教育学校生・予備校生以外の方は、この欄へ記入は不要です）
- 所見を記載する教員は、出願者を何らかの形で指導している教員（クラス担任や部活動顧問の先生等）であれば誰でもかまいません。ただし、出願後、出願者と本学との連絡を仲介できる教員です。

7. 「学校における評定平均値」について

- 高校生・中等教育学校生については教員が記入し、出願する時点で最新の評定平均値を記入してください。
- 「全体の評定平均値」のほかに、評定平均値の高い5教科（5科目ではない）について教科名と評定平均値を記入してください。ただし、学科によって特定されている教科がある場合は、必ずそれを含めて5教科記入してください。
- 既卒者については出身学校が発行した調査書（厳封したもの）、高等学校卒業程度認定試験受験者は受験票のコピー、合格者等は成績証明書を提出するので、この欄への記入は不要です。

個人情報について

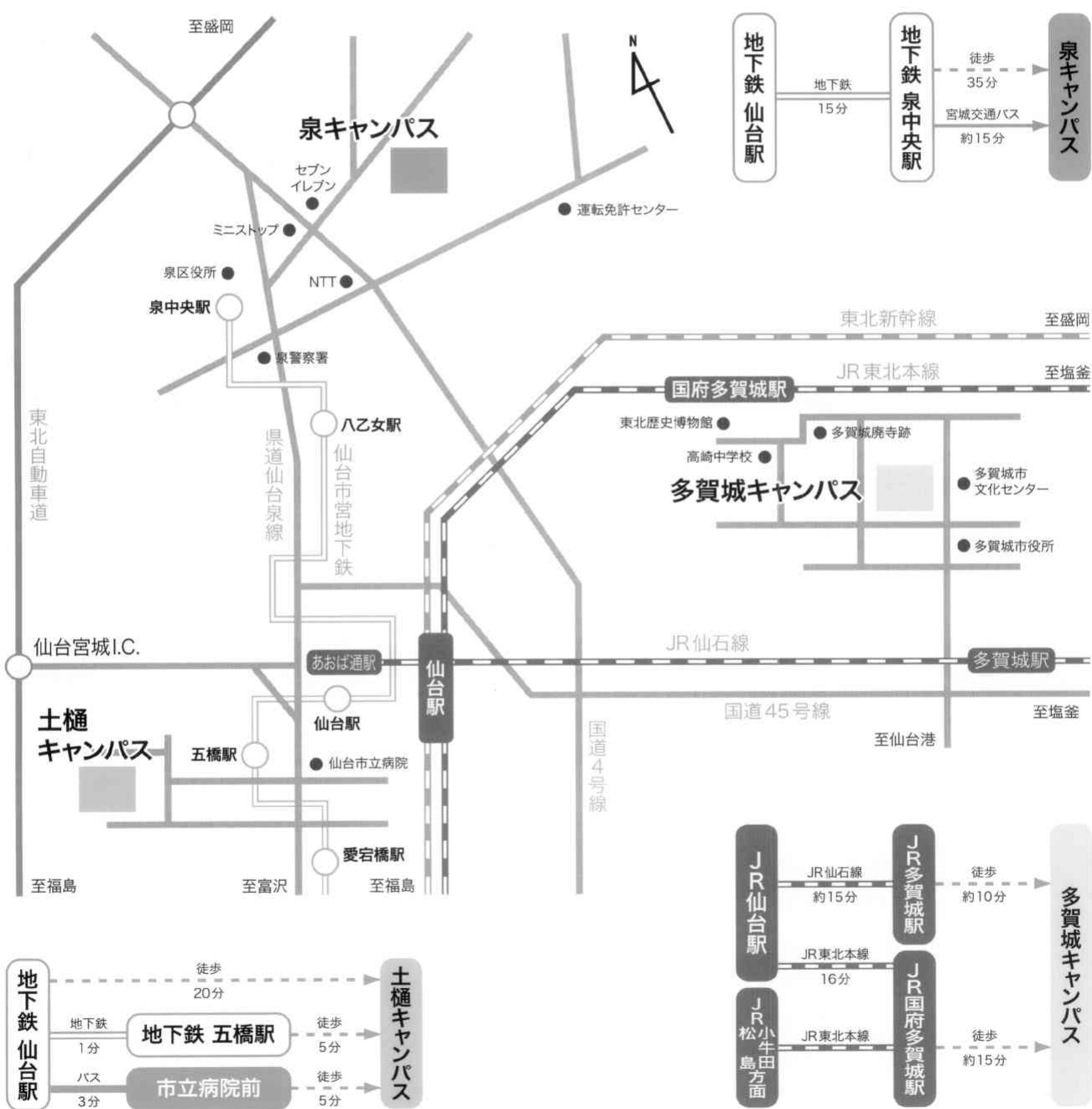
出願時においてご記入いただいた個人情報あるいは試験結果については、厳重に管理します。個人情報を、面接の連絡や評価の通知以外の目的に利用することはありません。

試験場案内図

泉 キャンパス 教養学部の面接

土樋キャンパス 文学部・経済学部・経営学部・法学部の面接

多賀城キャンパス 工学部の面接



アドミッションズ・オフィス（AO）による入学試験
第一次選抜審査申請書

受付番号	※この欄には記入しないこと
------	---------------

写真貼付欄

写真（正面上半身脱帽）
出願前3ヵ月以内に撮影したものを、透明フィルムをはがし、枠にあわせて貼ってください。
万が一はがれた場合のために、写真裏面には必ず氏名を記入してください。
(横3 cm×縦4 cm)

- 【注意】1. 「記入上の注意」をよく読んでから記入してください。
2. 出願の際にはこの申請書と第一次選抜志願票のほかに、指定の返信用封筒1枚（自分の住所・氏名を宛先に明記し、350円切手貼付）を同封してください。また、高等学校や中等教育学校既卒の方は出身校の「調査書」を、高等学校卒業程度認定試験を受験している方は「受験票のコピー」、合格した方は、「成績証明書」を添付してください。

志望学部学科	学部	学科
志望コース（英文学科志望者のみ）		昼間主コース 夜間主コース

出身校				フリガナ		性別	
都道府県	国立 公立 私立	学校	科 コース	昭和 平成	卒業見込 年月卒業 認定合格	氏名 (生年月日 昭和・平成 年 月 日)	男 女
現住所	郵便番号 (-)		電話 (- -)		現在の身分	1. 高校・中等教育学校生 4. 社会人 2. 予備校生 [職業] 3. 自宅で受験勉強 5. その他 []	
	都道府県						

次のⅠ～Ⅷの質問に答えてください。（自分の考えを自筆で書くこと。）

Ⅰ. あなたが出願した本学の学科に入学を強く希望するのは、特にどんな理由からですか。

.....
.....
.....
.....
.....

Ⅱ. あなたが特にAO入試に出願したのはどんな理由からですか。

.....
.....
.....
.....
.....

Ⅲ. あなたが、出願した本学の学科に入学できたとき、そこで学ぶ学生として、積極的に有意義な学生生活を送ることができると思うのは特にどんな理由からですか。あなたが持っている能力、資質、適性、経験、資格などを紹介しながら、特にアピールしたいことを書いてください。

※なお、記入にあたっては、「2012受験ガイド」または「AO入試募集要項」に載っている「AO入試における重要評価点（学科別）」をよく読んでください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

Ⅳ. あなたがこれまで習った（習っている）科目のなかで、成績の良い悪いとは関係なしに、最も興味をもてた科目を2つ挙げてください。また、それらには、特にどんな点（あるいは内容・領域）で興味をもちましたか。

① 科目： どんな点：	② 科目： どんな点：
--	--

Ⅴ. ここ数年の間に起こった出来事・現象のなかで、あなたが最も興味を感じたものを2つ挙げてください。また、それらには、特にどんな点で興味をもちましたか。

① 事柄： どんな点：	② 事柄： どんな点：
--	--

Ⅵ. 現在のあなたの生活において、あなたが最も充実した時間を過ごしていると感じるのは、どんなときですか。

.....
.....

Ⅶ. あなたは、どんな大学生生活を送りたいと考えていますか。

.....
.....

Ⅷ. あなたは、現在のところ、大学卒業後の進路について、どんなことを考えていますか。

.....
.....
.....
.....
.....
.....

※ ほかに何か特にアピールしたいことがあれば、自由に書いてください。

指導教員の所見欄

※高等学校・中等教育学校・予備校からの出願者について、本学が出願者を評価するうえで、参考になることがありましたら、クラス担任等の教員が記入してください。

記載者		印
【連絡先】		
学校・予備校名		
学校の住所 〒 -		
電話番号	- -	FAX 番号 - -

学校における評定平均値（全体の評定平均値と平均値の高い5教科について記入）

※現役生について学校の教員が記入してください。（既卒者・高等学校卒業程度認定試験合格者は不要です）	教科	全 体					
	平均値						

- ※ 文学部英文学科志望者は、「外国語（英語）」の評定平均値を必ず記入してください。
※ 教養学部情報科学科志望者は、「数学」の評定平均値を必ず記入してください。
※ 工学部志望者は、「数学」と「理科」の評定平均値を必ず記入してください。
※ 経営学部経営学科志望者は、「国語」「数学」「外国語（英語）」の評定平均値を必ず記入してください。

受付番号	※この欄には記入しないこと
------	---------------

写真（正面上半身脱帽）
出願前3ヵ月以内に撮影したものを、透明フィルムをはがし、枠にあわせて貼ってください。
万が一はがれた場合のために、写真裏面には必ず氏名を記入してください。
（横3cm×縦4cm）

志望学部学科	学部	学科
志望コース(英文学科志望者のみ)	昼間主コース 夜間主コース	

出身校					フリガナ	性別
都道府県	国立 公立 私立	学校	科 コース	昭和 平成 年 月 卒業見込 卒業 認定合格	氏名 (生年月日 昭和・平成 年 月 日)	男 女
現住所	郵便番号 (-)		電話 (- -)		現在の身分	1. 高校・中等教育学校生 4. 社会人 2. 予備校生 [職業] 3. 自宅で受験勉強 5. その他[]
	都道府県					

<p>次のⅠ～Ⅷの質問に答えてください。(自分の考えを自筆で書くこと。)</p> <p>Ⅰ. あなたが出願した本学の学科に入学を強く希望するのは、特にどんな理由からですか。</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <p>Ⅱ. あなたが特にＡＯ入試に出願したのはどんな理由からですか。</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	<p>Ⅲ. あなたが、出願した本学の学科に入学できたとき、そこで学ぶ学生として、積極的に有意義な学生生活を送ることができると思うのは特にどんな理由からですか。あなたが持っている能力、資質、適性、経験、資格などを紹介しながら、特にアピールしたいことを書いてください。</p> <p>※なお、記入にあたっては、「2012受験ガイド」または「AO入試募集要項」に載っている「AO入試における重要評価点(学科別)」をよく読んでください。</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
---	--

Ⅳ. あなたがこれまで習った(習っている)科目のなかで、成績の良い悪いとは関係なしに、最も興味をもてた科目を2つ挙げてください。また、それらには、特にどんな点(あるいは内容・領域)で興味をもちましたか。

① 科目： _____

どんな点： _____

② 科目： _____

どんな点： _____

Ⅷ. あなたは、現在のところ、大学卒業後の進路について、どんなことを考えていますか。

Ⅴ. ここ数年の間に起こった出来事・現象のなかで、あなたが最も興味を感じたものを2つ挙げてください。また、それらには、特にどんな点で興味をもちましたか。

① 事柄： _____

どんな点： _____

② 事柄： _____

どんな点： _____

Ⅵ. 現在のあなたの生活において、あなたが最も充実した時間を過ごしていると感じるのは、どんなときですか。

Ⅶ. あなたは、どんな大学生活を送りたいと考えていますか。

指導教員の所見欄

※高等学校・中等教育学校・予備校からの出願者について、本学が出願者を評価するうえで、参考になることがあります。また、クラス担任等の教員が記入してください。

記載者 _____ 印 _____

【連絡先】

学校・予備校名 _____

学校の住所 〒 _____

電話番号 _____ FAX 番号 _____

学校における評定平均値 (全体の評定平均値と平均値の高い5教科について記入)

※現役生について学校の教員が記入してください。(既卒者・高等学校卒業程度認定試験合格者は不要です)	教科	全 体	1	2	3	4	5
	平均値						

※ 文学部英文学科志望者は、「外国語(英語)」の評定平均値を必ず記入してください。
 ※ 教養学部情報科学科志望者は、「数学」の評定平均値を必ず記入してください。
 ※ 工学部志望者は、「数学」と「理科」の評定平均値を必ず記入してください。
 ※ 経営学部経営学科志望者は、「国語」「数学」「外国語(英語)」の評定平均値を必ず記入してください。

切手貼付

980-8511

仙台市青葉区土樋一丁目3番1号

東北学院大学 入試課 行

書 留

(AO入試関係書類在中)

裏面のチェック事項を確認してから封入をしてください。

差 出 人	住 所	<div></div>		
	フリガナ			
	氏 名		電話	() -
1	英文学科 (昼間主)	9	機械知能工学科	
2	英文学科 (夜間主)	10	電気情報工学科	
3	総合人文学科	11	電子工学科	
4	歴史学科	12	環境建設工学科	
5	経済学科	13	人間科学科	
6	共生社会経済学科	14	言語文化学科	
7	経営学科	15	情報科学科	
8	法律学科	16	地域構想学科	

この封筒の中に以下の書類が揃っているかチェックしてから封入してください。
なお、書類に不備がある場合は、受験できませんのでご注意ください。

☐ 申請書

※必要事項が全て記入されていますか？

※指導教員の氏名と捺印はされていますか？

※写真が貼られていますか？

☐ 志願票

※必要事項が全て記入されていますか？

☐ 返信用封

※必要事項が全て記入されていますか？

※350 円分の切手が貼られていますか？

速 達

350円切手をお貼りください。

住 所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>		
フリガナ			
氏 名	様		
1	英文学科（昼間主）	9	機械知能工学科
2	英文学科（夜間主）	10	電気情報工学科
3	総合人文学科	11	電子工学科
4	歴史学科	12	環境建設工学科
5	経済学科	13	人間科学科
6	共生社会経済学科	14	言語文化学科
7	経営学科	15	情報科学科
8	法律学科	16	地域構想学科

※志望学科の該当数字を○で囲んでください。



東北学院大学
TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY

受付番号

問合先：東北学院大学 入試課
〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1
TEL:022-264-6455 FAX:022-264-6377